

第 19 回

ハイリスク児フォローアップ研究会 プログラム

会 頭 三 科 潤

東京女子医科大学 母子総合医療センター

日 時

2007 年 5 月 20 日(日) 9:30~16:30 コクヨホール

第19回 ハイリスク児フォローアップ研究会

「フォローアップ外来における障害への支援」

会 頭 三科 潤 東京女子医科大学 母子総合医療センター 小児保健部門
日 時 2007年5月20日(日)9時30分～16時30分
会 場 コクヨホール
東京都港区港南 1-8-35 TEL: 03-3474-6092
会 費 3,000 円

プログラム

9:30 開 会

9:30～9:35 会頭挨拶 三科 潤 (東京女子医科大学 母子総合医療センター)

9:35～11:05 一般演題 座長 横浜市中部地域療育センター 原 仁

1. 極低出生体重児の4歳から6歳の精神発達の縦断的変化 —知能検査結果から—
中部大学 人文学部¹⁾、愛知医科大学・生殖・周産期母子医療センター²⁾、
名古屋市立大学病院³⁾、愛知県コロニー中央病院⁴⁾
○松尾 久枝¹⁾、二村 真秀²⁾、石川 道子³⁾、山田 恭聖⁴⁾
2. ミュンヘン機能発達診断法を用いた超低出生体重児の修正12か月時の評価と
6歳時の知能発達
東京女子医科大学病院 リハビリテーション部¹⁾、
東京女子医科大学 母子総合医療センター²⁾
○安達 みちる¹⁾、長谷川 三希子¹⁾、太田垣 あかね¹⁾、小林 一成¹⁾、
三科 潤²⁾、河野 由美²⁾、篁 倫子²⁾
3. 極低出生体重児親子支援グループにおける軽度発達障害児への支援
～専門機関へつなげた事例を通して～
筑紫女学園大学短期大学部¹⁾、九州大学人間環境学府²⁾、福岡市立こども病院³⁾、
国立病院機構九州医療センター⁴⁾
○大轟 香¹⁾、花田 日登美²⁾、中山 英樹³⁾、佐藤 和夫⁴⁾
4. 超低出生体重児への小学校でのいじめに対し母親が積極的な対応を行い、改善をみた一例
母子愛育会愛育病院¹⁾、日本子ども家庭総合研究所・愛育相談所²⁾
○安藤 朗子¹⁾²⁾、佐藤 紀子¹⁾、石井 のぞみ¹⁾、川井 尚¹⁾²⁾、山口 規容子¹⁾
5. 当総合周産期母子医療センターにおける成長ホルモン分泌不全性低身長症について
埼玉医科大学総合医療センター 小児科
○小林 貴子、高田 栄子、田村 正徳

6. 平成 18 年度診療報酬改訂にともなうハイリスク児フォローアップと
リハビリテーション科の現状と課題

長野県立こども病院 リハビリテーション科

理学療法士 木原 秀樹, 赤ちゃんリハビリテーション連絡会会員

指定発言:「診療報酬について」群馬県立こども病院 小泉 武宣

11:05～11:15 休憩

11:15～12:00 特別講演-1

座長 兵庫県立こども病院 上谷 良行

「自閉性障害の早期発見について」

演者 神戸大学医学部 保健学科 高田 哲

12:00 午前の部終了

12:10～12:40 幹事会(学会会場にて)

12:40～12:50 総会(学会会場にて)

13:00 午後の部開始

13:00～14:30 招請講演

座長 大阪府立母子保健総合医療センター 総長 藤村 正哲

Cerebral palsies: an epidemiological update 脳性マヒ:最新の疫学的知見.

演者 西オーストラリア大学小児保健研究センター Dr.Eve Blair

Adjunct Associate Professor, Centre for Child Health Research,
The University of Western Australia

Senior Research Fellow, Telethon Institute for Child Health Research

Research Officer to the Western Australian Cerebral Palsy Register

14:30～15:00 特別講演-2

座長 自治医科大学 小児科 本間 洋子

「小さく生まれた娘を育てて」

演者 都立墨東病院 おたまじゃくしの会 向 喜美子

15:00～15:15 休憩

15:15～16:25 特別講演-3

座長 東京女子医科大学母子総合医療センター 三科 潤

「ADHD の特性を持つ子どもたちの支援:
地域で支えるモデルをめざして」

演者 久留米大学医学部 小児科学 山下 裕史朗

16:25～16:30 閉会挨拶